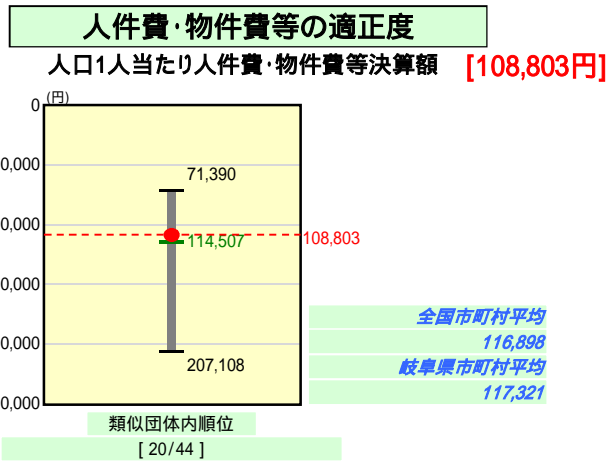
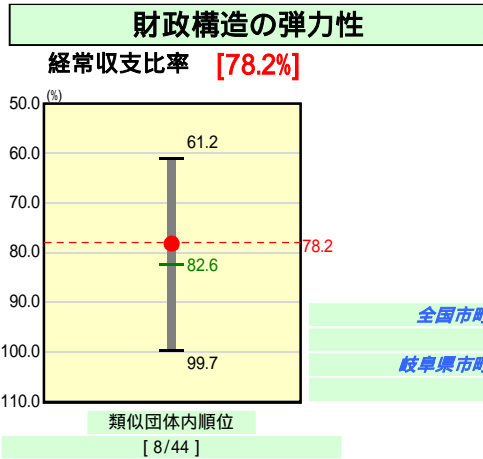
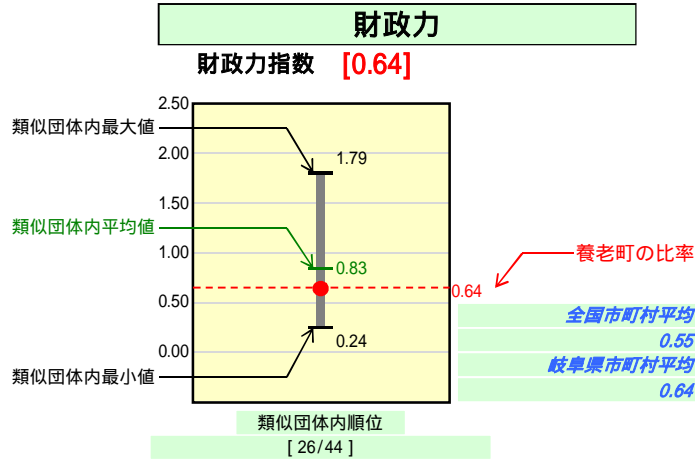


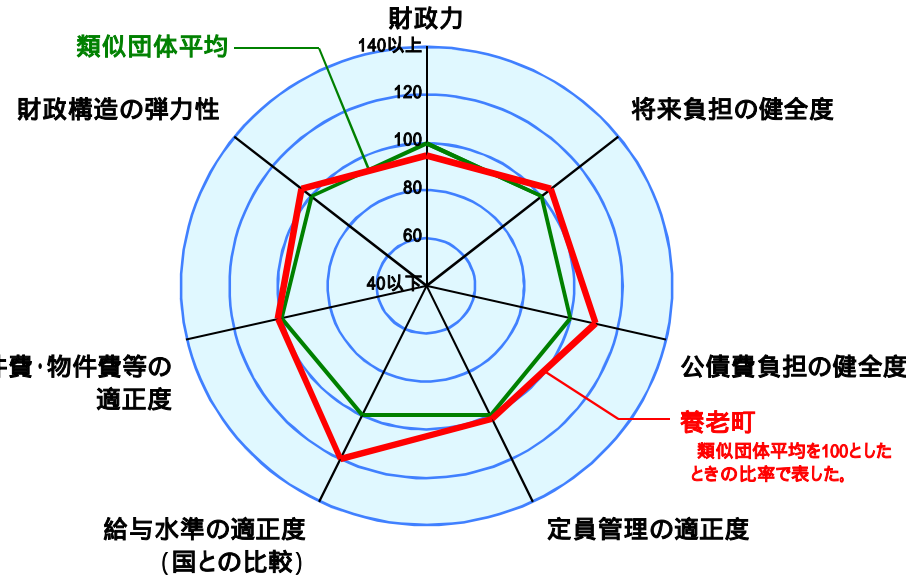
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

岐阜県 養老町

人口	32,697人	(H20.3.31現在)
面積	72.14	km ²
歳入総額	9,459,275	千円
歳出総額	8,894,704	千円

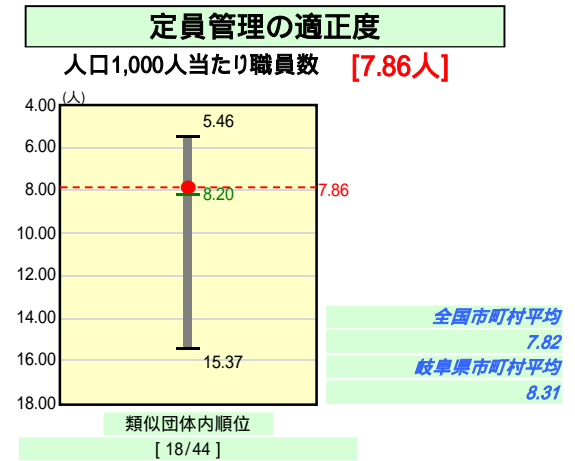
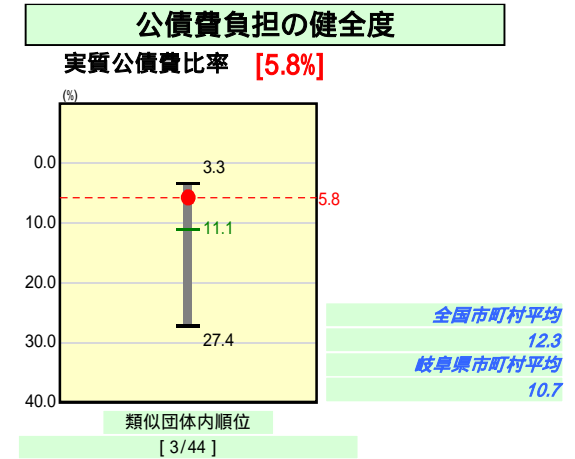
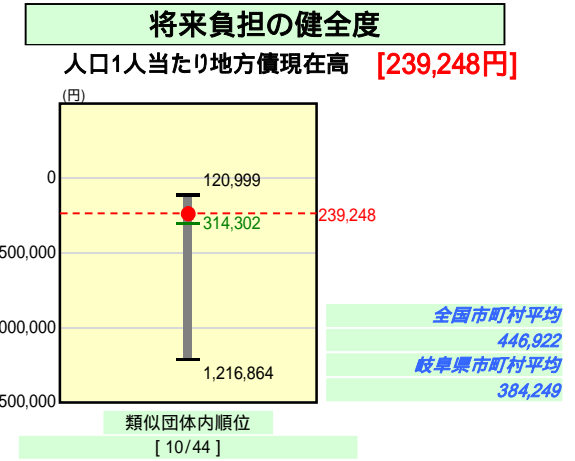
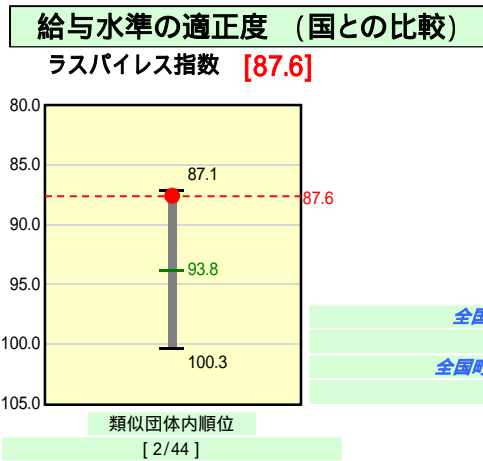


人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



給与水準の適正度 (国との比較)

類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



分析欄

【財政力指数】ここ数年連続した伸びを見せ、0.64となっているが類似団体平均を下回っている。企業誘致や定住促進による税収の増加、税の徴収強化による自主財源の確保に努める。

【経常収支比率】前年度から2.3ポイント減少し、硬直化に歯止めがかかった。適正な定員管理による人件費の抑制を進め、義務的経費を節減し弾力ある財政構造を目指す。

【実質公債費比率】類似団体平均値を下回っている。今後は下水道事業の起債償還に対する繰入金等の増加も見込まれる。適正な地方債管理を行って比率の抑制に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】過去から起債抑制策により類似団体平均値を下回っている。今後も事業を精査し新規発行の抑制に努め、引き続き水準を抑える。

【ラスパイレス指数】類似団体平均値を大きく下回っている。人事院、県人事委員会の勧告等を参考として、均衡の原則をはじめとする給与決定の諸原則に則り給与の適正化に努める。

【人口1,000人当たり職員数】類似団体平均値を下回っているが、さらに事務事業の見直しをして合理化を進め、効率的な行政運営に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】類似団体平均値を下回っており、引き続き人件費の抑制や既存施設の維持管理費に係る経費の抑制に努める。